# 令和8年度 鹿児島女子高等学校 グランドデザイン

## スクールミッション及び目指す学校像、生徒像

【スクールミッション】

県内女子高のトップリーダーとして、家庭科と商業科の資格取得や研究推進における中心的役割を担い、建学の精神「雪に耐へて梅花麗し」の下、高い専門性、美しい礼儀作法を実践する中で、個性や能力を豊かに伸ばすとともに、各種運動・文化系及び生産系部活動において、培った力を様々な分野で発揮し、地域社会等の発展に貢献する人材を育成する学校を目指します。

【目指す学校像】

- 生徒一人一人の良さを発見し、可能性を最大限に伸ばす学校
- 多様な存在と価値を認め合い、互いに学び合う学校
- 132年の歴史と伝統を継承しつつ、変化する社会に柔軟に対応する学校

【目指す生徒像】

- 自ら考え、選択し、行動する生徒
- 自らを磨き、多面体で輝ける生徒

何ができるようになるのか ⇔ 何が身に付いたか

### 勤労自治
社会を生き抜く実践力と自立心

- 学ぶ意義を理解し、学習に主体的に取り組むことができる。
- 部活動や生徒会活動等で自ら考え、活躍することができる。
- 未知の状況においても、自立して行動することができる。

### 清純理知
豊かな人間性と品格

- 文化や伝統を愛し、品格ある立ち居振る舞いができる。
- 生命の尊厳を自覚し、他者への思いやりを大切にできる。
- 人権感覚を備え、多様な人々と協働することができる。

### 進取気魄
自己肯定感と課題解決力

- いかなる困難にも主体的に立ち向かう強い意志力を持っている。
- 検定取得や行事等への挑戦を通して、自らの力を実感することができる。
- より良い解決策を見出すために、コミュニケーション力や探究心を持っている。

### 生徒の発達をどのように支援するか
○ 発達支援的生徒指導

- 生徒のよさと可能性を発見する手立ての工夫
- 職員間の情報共有とチームによる生徒支援
- SC等と連携した教育相談体制の更なる充実
- 居場所と絆づくりの取組の推進

### 何を学ぶのか
○ 各学科の特色に応じた学びの明確化

- 多様な進路に応じた柔軟なカリキュラム
- 生徒の実態を踏まえた授業デザインの充実
- 地域等と連携した実践的学びの充実

⇔

### どのように学ぶか
○ 「教える」から「学ぶ」への転換

- 自らの行動をより良く改善する意思決定の機会提供
- 検定等を活用した学びの可視化
- 各学科における探究的な学び

### 実施するために何が必要か
○ 指導体制の充実、家庭、地域との連携・協働

- 授業改善と学習評価の工夫・改善
- 教職員の専門性を高める研修機会の充実
- ICT、デジタル技術等の活用による学び
- 外部の教育資源の開発と活用

### 安心・安全な学校づくり

- いじめの根絶
- 危機管理の徹底とリスク管理意識の醸成
- 師弟同行の無言作業による環境整備

### 信頼される学校づくり

- 魅力発信の工夫・改善（広報活動等）
- 鹿女子ブランドの継承
- 法令順守と服務規律の厳正確保

※グランドデザインのフォームは、高木展郎著『評価が変わる、授業が変わる』（2019 三省堂）143頁を参考にしました。